

東京都土地改良だより

第 156 号



▲大丸用水堰



▲昭和用水堰



▲府中用水樋門



▲小庄用水堰



▲日野用水堰

- 誌面の概要 -

- ・ 新年のご挨拶
- ・ 令和3年度農業基盤整備関係予算の概要
- ・ 土地改良施設資産評価連絡会議の開催
- ・ 子ども絵画展で入選等4作品！
- ・ 第43回全国土地改良大会 群馬大会 (2021.10.6開催予定)



新年のご挨拶



東京都土地改良事業団体連合会

会長 山下 奉也

あけましておめでとうございます。

会員並びに関係者の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、日頃から本会の業務運営並びに農業基盤整備事業の推進につきましては、特段のご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の拡大によって、大きな影響を受けた一年でありました。4月には緊急事態宣言が発出され、不要不急の外出自粛をはじめ各種イベント等の中止など、様々な分野での活動の制限は、これまでとは異なる日常を余儀なくされました。本会といたしましては、可能な限りの対策を講じながら、会員の皆様方からの負託に応えるべく誠心誠意業務に取り組んで参りました。

一日も早く平穏な生活と経済の回復が取り戻せますよう、引き続き感染拡大の防止に尽くし、早期の終息を祈念する次第であります。昨年もまた、全国各地で局地的な豪雨や長雨、台風などによって農地や農業用施設が多大な被害を受けました。とりわけ、九州を中心に甚大な被害をもたらした河川災害は、想像を絶するものであり今なお鮮明に記憶に残っております。被災された皆様方には心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧と復興を願っております。こうした度重なる災害に対して、国は農村地域の防災・減災、国土強靱化対策としての予算を確保するとともに、「ため池の管理・保全法」「防災重点ため池の特別措置法」などの法整備を進め、3か年緊急対策に引き続き、さらに所有と管理、行政機関がそれぞれの役割分担を明確にし、激甚化する風水害等への対策や予防保全に向けた老朽化対策などの取り組みの加速化を進めることとして、補正予算と令和3年度の農業農村整備関係予算を確保しております。これらの予算を活用して、東京都と連携しながら東京農業が抱える農業基盤に関する整備を、会員の皆様とともに進めていく必要があります。東京農業は、農業の担い手の高齢化と後継者の確保が困難な状況にあり、耕作放棄や農地の遊休化が顕著な山村地域や離島においては、深刻な状況にあります。地域の農業を振興していくうえで、農業基盤整備は必要不可欠であり、東京都をはじめ会員市町村並びに土地改良区とともに、農業の担い手の確保も視野に入れて、農業基盤整備事業の導入をめざしていくこととしています。

平成30年6月の土地改良法改正に伴い、土地改良区では課題となっております複式簿記導入の令和4年4月を前に、不安を抱えながら体制強化や運営基盤の強化などの諸課題に取り組んでおられます。

本会としましては、コロナ感染症の影響で活動にあたっては様々な制限がありますが、国や東京都と連携し支援に取り組んで参ります。

今後とも地域からの声に耳を傾け、目で確認し、これまでの経験と新たな発想で具体化し、会員の皆様に提案する土地改良連合会をめざして参ります。

本会は、会員の皆様とともにそれぞれの地域が抱える課題を明確にして、農業農村整備事業はもとより各種施策を活用しながら、役職員が一丸となって、課題の解決に取り組む所存でございますので、変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

新年のご挨拶



東京都産業労働局農林水産部
農業基盤整備担当課長 渋谷 圭助

新年、明けましておめでとうございます。

令和3年の新春を迎え、謹んでお祝い申し上げます。

また、日頃より東京都の農業振興施策の推進にご理解とご協力を賜り心より御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスが世界中で感染拡大し、人々の生命や生活のみならず、社会・経済にも大きな影響を与えました。ワークスタイルも激変し、オフピーク出勤やテレワークにリモート会議等、いままで経験したことのない一年となりました。また、7月の豪雨や台風により、全国で多くの被害が発生しました。被災された多くの皆様に心よりお見舞い申し上げます。

現在、国では新たな土地改良長期計画の策定に向けて準備を進めており、3つの政策課題に対して5つの政策目標を定めています。その中には、防災重点農業用ため池に係る防災対策の集中的かつ計画的な推進及び流域治水の推進等、頻発化・激甚化する災害に対応した整備やICTなどの新技術を活用した農業水利施設の保全管理等も盛り込まれております。

国の令和3年度農業農村整備予算は令和2年度補正予算も含め、6,300億円となっており、そのうち国土強靭化と災害関連予算は、1,155億円が計上されています。

東京都においても、防災重点農業用ため池の早期整備と農業基盤施設の適正な維持管理ができるよう、市町村への支援をしております。また、令和元年の台風19号で被災した奥多摩町のワサビ田の復旧につきましても、引き続き支援を行っております。

さて、東京都の令和3年度予算案の発表がありました。一般会計歳出総額は、コロナ過による社会・経済対策や長期戦略に掲げる政策に重点的に予算配分したことなどにより、昨年度より710億円増の7兆4,250億円となっています。また、農業基盤整備予算については別に概要説明がありますが、二点ほど紹介させていただきます。

一点目は、農地の創出・再生支援事業です。ご存じの通り、生産緑地法が改正され、新たに特定生産緑地制度が創設されました。生産緑地地区の所有者等の意向をもとに、区市が生産緑地地区を特定生産緑地に指定することで、買取り申出ができる時期が「生産緑地地区の都市計画決定から30年経過後」から10年延期されます。また、都市農地貸借円滑化法により、生産緑地の貸借を行いやすい環境が整備されています。こうした動きを捉え、生産緑地の貸借をより一層促進させるため、来年度予算案において、当事業における再生支援の対象を貸借される生産緑地も含め、東京都全域に拡大し、肥培管理が難しくなった果樹畑等を野菜等の栽培が可能な農地に再生利用できるよう、事業内容を拡充しています。

二点目は、都市農地保全支援プロジェクトです。平成26年度の事業開始からこれまで、防災兼用農業用井戸を192箇所、農薬飛散防止施設を119箇所等の整備を行ってきました。また近年では、区市が取得した農地を農業公園や農福連携農園等に整備する際の支援も行っています。都は、引き続き農地が持つ防災や環境保全等の多面的機能を一層発揮させるための施設整備や農地保全の理解促進に向けた取組等、区市町が行う取組をソフト・ハードの両面で支援してまいりますので、何なりとご相談いただければ幸いです。

令和3年度農業基盤整備関係予算の概要

令和3年度の東京都予算は、コロナ過により大きな影響を受けた社会・経済の早期回復に向けた取組や、東京の未来を切り拓く羅針盤となる長期戦略で掲げる政策に重点的に予算配分したことなどにより、一般会計歳出総額が前年度に比べて710億円増の7兆4,250億円となっています。

産業労働局全体では、対前年比121.3%となっており、うち農林水産対策に係る予算では、対前年比92.7%となっています。

農業基盤整備関係の事業については、令和元年度災害の復旧に係る予算の大幅な増額により、対前年比153.8%の約16.9億円が確保されています。

【主要な事業】

1 基盤整備促進：26,950千円～農山漁村地域整備交付金

農道及びかんがい施設等の農業基盤の整備を行い、地域の実状に応じた農用地の高度利用による農業生産性の向上を図る。

2 地域農業水利施設ストックマネジメント：103,595千円～農業水利施設マネ、農業水利施設保全合理化

団体営事業等で造成された農業水利施設の耐震対策や老朽化による更新等について、機能診断に基づき計画的な対策工事を行い、農業用水の安定供給を図る。

3 小規模土地改良：151,033千円

受益面積がおおむね2ha以上の地域で実施する国庫補助対象外の農業基盤整備に補助し、地域の実情に即した整備を進め、農業生産性の向上に資する。

4 魚の遡上を阻害する土砂撤去等：7,700千円

魚道を魚（アユ等）が支障なく遡上できるよう、市町村、土地改良区（農業用水堰管理者）、漁協（魚道受益者）の連携のもと、農業用水堰及び魚道の機能の維持・改善を支援する。

5 農地防災：47,953千円～ため池整備、用排水施設整備、農業用河川工作物応急対策

農地及び農業用施設における災害の発生を未然に防止するための工事を行う。

6 農地及び農業用施設災害復旧事業：804,384千円

異常な天然現象により被災した農地及び農業用施設の復旧工事を行う。

7 都市農地保全支援プロジェクト：332,887千円

農地が持つ防災や環境保全などの多面的機能をより発揮させるとともに、地域住民に配慮した基盤整備により、貴重な都市農地の保全を図る。

令和3年度農業基盤整備関係予算（農業振興課）（歳出ベース）

予算事項名	令和3年度	令和2年度	比率	
	予算額(千円)	予算額(千円)	↓	R2比
基盤整備促進(公)	26,950	42,966	↓	62.7%
地域農業水利施設ストックマネジメント(公)	103,595	72,118	↑	143.6%
小規模土地改良(単)	151,033	128,113	↑	117.9%
農村総合整備(公)	11,550	0	↑	皆増
土地改良指導等(公・単)	2,252	8,940	↓	25.2%
畑地灌漑施設等実態調査	2,536	2,543	↓	99.7%
魚の遡上を阻害する土砂撤去等	7,700	50,900	↓	15.1%
農地防災(公)	47,953	169,289	↓	28.3%
農地及び農業用施設災害復旧(公)	804,384	1,000	↑	80438.4%
小笠原農業基盤整備(公)	23,765	47,565	↓	50.0%
小笠原農業基盤施設等維持補修(単)	141,613	156,151	↑	90.7%
都市農地保全支援プロジェクト(単)	332,887	382,897	↓	86.9%
農地の創出・再生支援事業(単)	36,867	37,000	↓	99.6%
水土里保全活動支援(公)	2,922	2,994	↓	97.6%
合計	1,696,007	1,102,476	↑	153.8%

鶴舞う形 群馬の大地
水土里の未来へ ここから羽ばたいて



第43回 全国土地改良大会

群馬大会

2021年10月6日水
Gメッセ群馬

日本のまんなが、群馬へようこそ。
昔から群馬は鶴が天空を舞う姿に似ていると言われています。全国の仲間と共に、「新しい時代の土地改良」に向かって、ここ群馬から大きく羽ばたくために、鶴舞う形の群馬県をお待ちしています。

尾瀬



伊香保温泉



赤城西麓コンニャク畑



すき焼き



長野堰円筒分水工



沼田祭り



主催  全国土地改良事業団体連合会 群馬県土地改良事業団体連合会

土地改良施設資産評価に関する連絡会議の開催！

2020.7.13

令和2年度土地改良施設資産評価データ整備事業連絡会議が開催されました！

本年度実施する土地改良施設資産評価データ整備事業に関して、土地改良区や関係市町村の理解と協力を得るため説明会を実施しました。今後、令和3年度の複式簿記試行に向けて、過去2か年分の決算処理や事業実績等の会計情報等を確認していく予定です。また、今年度実施する巡回指導計画についても報告しました。



大丸用水路



会議の様子

日時： 令和2年7月9日(木) 13:30～
 場所： 東京都農業振興事務所会議室
 主催： 東京都(農業振興課) 協力： 水土里ネット東京

議題

(1) 令和2年度資産評価データ整備事業について

- ① 土地改良施設の資産評価マニュアル概要について
- ② 事業の現地調査について
- ③ 事業の成果品イメージについて

本年度実施する資産評価データ整備事業の円滑な推進に向け、次の3項目について説明を行った。
 ①施設の資産評価手法について、国の定めた「資産評価マニュアル概要」の理解。②連合会が実施する、実績データが不足する水路等の現地調査への協力依頼。③某地区を対象に作成した、土地改良施設台帳を含む成果品のイメージを提供。

(2) 土地改良法一部改正(平成30年)への対応状況について

- ① 全国の土地改良区概要について
- ② 土地改良法一部改正について
- ③ 一部改正に伴う諸規定の整備について

土地改良法改正に伴う、各土地改良区の取り組み状況を確認した。
 管内土地改良区では、義務行為とされる貸借対照表の作成や員外監事等の取り組みは実施するが、任意とされる事項は実施しないとしている。

(3) その他(パンフレット等の紹介)

- ① 複式簿記会計システム(会計ソフト)
- ② 水土里保全活動支援事業リーフレット

国が開発した会計ソフト(ミラウドmini)の説明を実施。
 多面的機能支援交付金の紹介を、水土里保全活動支援事業リーフレット(都の事業名称)を利用して説明を行った。

子ども絵画展2020の開催！

2020.12.16

「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2020が開催されました！

2020.12.4(金)～11(金) 上野 東京都美術館

「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展は、子ども達に田んぼや農業に関心をもってもらい、「田んぼ」「ため池」「農業用水路」などの風景や、大切な水路を守っている人たちの姿を通して、水の循環や環境保全への理解をうながし、大人達へのメッセージとして子ども達のまなざしを届けることを目的として2000年から実施しています。

このコンクールは全国水土里ネット・都道府県水土里ネットが主宰し、未就学の3歳児から小学校6年生までの児童を対象にしています。

今年で21回目を迎える本コンクールには、全国から4,883点もの応募がありました。その中から審査の結果、入賞6点、企業賞26点、入選158点、地域団体賞42点が選ばれました。そのうち都内小学校から出品された1作品が地域団体賞(水土里ネット東京会長賞)に選ばれ、他3作品が入選しました。作品は12月4日から～12月11日にかけて東京都美術館に展示されました。

来年度も是非多くの方の応募をお待ちしております。



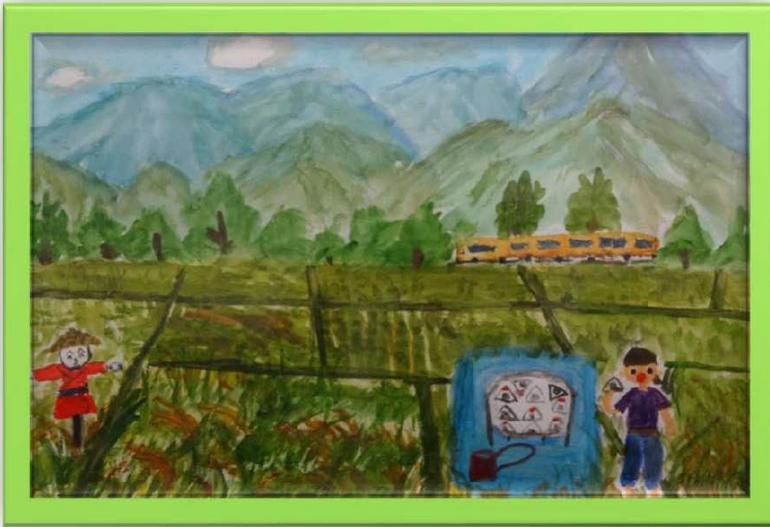
水土里ネット東京会長賞

コロナに負けちゃ～いかんぞ！

はらしま ま お

原嶋 真大さん(5年)

小平市立小平第六小学校



入 選

「実りとしゅうかく」

いしかわしおん

石川 詩音 さん（5年）

小平市立小平第六小学校



入 選

「人気の野菜直売所」

さいとう はな

斉藤 花奈 さん（5年）

小平市立小平第六小学校



入 選

「マイファミリーベストプレイス
家族のいやしの場所」

どい みゆう

土居 美優 さん（5年）

小平市立小平第六小学校

令和2年度 第2回監事会及び監査

令和2年11月25日（水）に東京都農業振興事務所3階会議室において、令和2年度上半期（令和2年4月1日～令和2年9月30日）における下記事項について、「第2回監事会及び監査」が行われました。

【監事】

代表監事： 沼崎 信夫氏（府中用水土地改良区理事長）

監事： 福島 久夫氏（日野用水土地改良区理事長）

【議事】

- ・令和2年度事業報告書（上半期）
- ・令和2年度収支計算書（上半期決算書）
- ・令和2年度財産目録等（上半期）

監事会では、代表幹事から「連合会の運営は常に厳しい財政運営であったが、昨年度、今年度と努力した結果が表れているように感じる。このような時期に自己資金を増やせるよう鋭意努力されたい。」との監事の意見をいただいた。これに対し、常務理事から「ため池関係事業やGIS事業、書類の電子データ化など新たな事業の取入れ、また土地改良事業地区の受託増加が見込めることから、財政的黒字化が予想される」との説明があり、監事からは「常務理事の説明に期待を込めて、了解する。」との激励を受けました。

監査では特に指摘事項はありませんでしたが、代表監事から「経営的にはまだまだ厳しい状況にあり、役職員一丸となって頑張ってもらいたい。」との講評がありました。



「農業農村整備の集い」の開催

令和2年11月20日、東京都千代田区の砂防会館別館「シェーンバッハ・サボー」において「農業農村整備の集い」が開催されました。

冒頭の主催者挨拶で、二階俊博全国土地改良連合会長は、「来年度の予算編成作業は現在進められているが、更なる高みを目指して闘う決意がなければならない。新型コロナウイルスがまだ大きな脅威となっているが、築き上げてきた大きな経験や技術を最大限に生かして、農家の方々の期待に応えるよう一致団結して対応していかなければならない。」と力強く述べられ、土地改良関係者の更なる結束を訴えました。



■大勢の国会議員と参加者

来賓の祝辞では、野上農林水産大臣が、「生産基盤の整備は不可欠である。本年6月には“ため池工事特措法”が与野党一致の議員立法で成立し10月に施行された。計画的に推進を図っていく。農業農村整備の推進に必要な予算については、令和2年の当初予算と前年度補正予算を合わせ6,515億円確保し、皆様の期待に応えられるようになってきた。これからも必要な予算を確保するため全力で取り組み、農林水産産業を発展させるとともに、美しく豊かな農山漁村を守っていく。」と述べられました。

引き続き、進藤金日子参議院議員・都道府県土連会長会議顧問も祝辞の中で、「強い農林水産産業を創っていく上で土地改良の役割は極めて大きくなってきている。また、全国水土里ネット女性の会も昨年結成され、女性の意見も大きな力となっている。皆さんの支援をお願いしたい。」と力説されました。

宮崎雅夫参議院議員・都道府県土連会長会議顧問も「多発している自然災害の復旧・復興に尽力されている方々に対して敬意を表する。国政での活動も2年目を迎えることができ、ご支援に対し感謝申し上げます。進藤議員と共に予算の確保に向けて全力を尽くしていきたい。」と述べられました。

その後、要請文を満場一致で採択し、事例発表、ガンバロウ三唱と共に一同の盛大な拍手で閉会しました。



■二階全土連会長の挨拶





みどり
水土里ネット

地域で守ろう豊かな自然

<http://www.midorinet-tokyo.or.jp>

発行元

東京都土地改良事業団体連合会
東京都立川市錦町3丁目12番地11号

TEL : 042-548-0371 FAX : 042-548-0375
URL : <http://www.midorinet-tokyo.or.jp>